部　方　針　書

年度	部名	部長名
R5	都市政策部	磯中　克文

1　部の経営方針　部全体を俯瞰したマネジメントの目標

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標ごとに記載）
1	「ひとが輝き　交流ひろがる　わたしたちの宇部」の実現に向け、部内一丸となり、「和衷協同」の精神で、第五次総合計画（前期実行計画）を着実に推進する。
2	庁内連携を図るとともに、多様なステークホルダーと共創・連携し、人口減少・少子高齢化社会においても持続可能で、安心安全で快適に暮らせ、にぎわいのあるまちづくりを推進する。
3	政策の立案・ブラッシュアップを行うにあたり、EBPM（エビデンスに基づく政策立案）に取り組み、政策の有効性を高めるとともに、市民の行政への信頼確保に努める。
4	管理職自らが模範となり、「凡事徹底」を実践することで、適正な事務の執行および、市民から信頼される職員を育成する。
5	責任と主体性を持ち、自分事として捉え、業務や市民サービス等に対応できる職員を育成する。
6	職員が挑戦を楽しみ、仕事を通じて成長を感じることができるモチベーションの高い組織を目指す。

◎心理的安全性確保に向けた取組

日常的に管理職から職員に声掛けを行い、気軽に発言や相談等ができ、対等なコミュニケーションが取れる風通しの良い職場環境づくりに努める。

2　部が所管する主な個別計画　前期実行計画に掲げる施策に関連する特定分野における計画

No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類	No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類	No.	計画名	計画期間	前期実行計画分類
1	宇部市都市計画マスタープラン	H28～R7	基本目標5 安心・安全	2	宇部市立地適正化計画	H31～R7	基本目標5 安心・安全	3	宇部市にぎわいエコまち計画	H27～R6	基本目標5 安心・安全
4	宇部市中心市街地活性化基本計画	R2～R6	基本目標5 安心・安全	5	宇部市本庁舎建設基本計画	H28～R6	基本目標5 安心・安全	6	ガーデンシティうべ構想	H30～R9	基本目標5 安心・安全
7	宇部市都市公園施設長寿命化計画	R3～R12	基本目標5 安心・安全	8	宇部市公営住宅等長寿命化計画	R4～R13	基本目標5 安心・安全	9	宇部市地域公共交通計画	R4～R8	基本目標5 安心・安全
10	第2次宇部市空家等対策計画	R3～R7	基本目標5 安心・安全	11	宇部市耐震改修促進計画	R3～R7	基本目標5 安心・安全				

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	都市計画課	金子　豊

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
・社会経済情勢の変化に対応した都市計画制度を運用するとともに、持続可能で暮らしやすいコンパクトなまちづくりを進める。 **・公共交通を維持・確保していくため、地域住民や交通事業者などと連携を図りながら、「宇部市地域公共交通計画」に基づいた施策を進め、公共交通が持続可能な移動手段となるように取り組む。** **・島地区においては、地元住民の理解と協力を得ながら道路等のインフラ整備を進め、地区内の生活環境水準の向上を図る。**

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	路線バス利用者数（交通局）	第五次総合計画	R4～R8	5,500人／日	5,123人／日	5,200人／日	公共交通が維持・確保され、持続可能な移動手段となる。
2	地域内交通利用者数	第五次総合計画	R4～R8	12,000人／年	10,365人／年	11,600人／年	公共交通空白地域における住民の日常生活（買物や通院等）の移動手段が維持・確保できる。
3	島地区の居住環境の改善	個別計画	R4～R10	居住環境の改善	代替整備計画（案）の作成	都市計画の変更、事業の廃止、代替整備計画の策定	良好な居住環境を形成することで、居住誘導区域として住み続けることができるまちを構築できる。
4	都市計画道路の見直し	個別計画	R2～R9	都市計画道路の見直し	見直し方針（素案）の作成	整備見通しの検討、変更手続きの優先順位の決定	社会情勢の変化等に応じ、都市計画道路を適正な規模・配置に見直すことで、効率的なまちづくりを進めることができる。
5	常盤台地区まちづくり構想の策定	個別計画	R4～R5	常盤台地区まちづくり構想の策定	地区の現況把握、課題の整理	まちづくり構想の策定	地域特性を活かした文教エリア等としてのビジョンが明確となり、付加価値の高いまちづくりが進む。
6	JR宇部線の利用者数	個別計画	R4～R8	4,000人／日	3,357人／日	3,600人／日	公共交通が維持・確保され、持続可能な移動手段となる。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	路線バス「乗ってみよう」事業	6,000人／日を上回っていた利用者数は、コロナ禍で大きく落ち込んでいる。 R4年市民意識調査では、「この1年公共交通を利用していない」が6割、「年に数回しか利用していない」が3割となっており、まずは、路線バスに乗るきっかけづくりが必要である。	路線バス利用者数（交通局） 4,800人／日	5,123人／日

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・路線バスを利用するきっかけや利便性を広くPRするため、新川市まつりや宇部まつりにあわせて、路線バスの運賃無料デーを実施する。 ・路線バス事業者である交通局、船木鉄道㈱とともに取り組んでいくほか、アンケート調査などで山口大学とも連携していく。		10,500	5,200人／日
（庁内連携課）	宇部市交通局、広報広聴課、観光交流課	うち一財 10,500	
（共創パートナー）	船木鉄道㈱、山口大学		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備・周知	●運賃無料デー（新川市まつり：1回目）	分析・評価	利用者数把握	PDCAサイクルで2回目に反映		準備・周知	●運賃無料デー（宇部まつり：2回目）	分析・評価	利用者数把握、アンケート取りまとめ		
整理券回収箱など、実施に向けた準備			アンケート取りまとめ			実施に向けた準備					
チラシ・ポスター、広報SNS、市長Youtube						チラシ・ポスター、広報SNS		R6年度に向けて、実施時期・内容等の検討			
◇広報掲載						◇広報掲載					
☆報道発表						☆報道発表					

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	地域内交通対策事業	車を運転できなくなる高齢者等に対し、安心・安全な移動手段を確保する必要がある。 R4年市民意識調査で「高齢になっても安心して暮らせることができる」と各施策との相関係数として、「利便性の高い地域公共交通の確保」が上位となっている。	地域内交通利用者数 10,500人／年	10,365人／年

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・既存利用者が様々な理由で利用されなくなるなか、新規利用者のニーズを掘り起こしながら、移動手段の維持確保を図る。 ・コミュニティタクシーについては、地域の運営協議会の運営を支援し、利用者の増加を図る。 ・デマンドバスについては、利用者が固定されているため、地域包括支援センターなどとも連携して利用促進を図る。		25,131	11,600人／年
（庁内連携課）	各ふれあいセンター等、高齢者総合支援課	うち一財 20,117	
（共創パートナー）	地域運営組織などの地域の方、地域包括支援センター		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【コミュニティタクシー】											
←6地域の運営協議会との連携を図りながら、コミュニティタクシーの運営支援を行う。							R6年度に向けて、運行ダイヤの見直し、停留所の新設などを協議。→				
●新ダイヤの最終調整		●協議会		●運輸局へ申請		●新ダイヤでの運行開始					
【デマンドバス】											
←楠地域、小野地域、二俣瀬地域で、地域や包括支援センターなどと連携を図りながら、利用促進を図っていく。→											
	小野デマンドの立て直しが喫緊の課題のため、まずは、北部東の包括支援センターと連携。										

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	島地区環境整備事業	島地区は中心市街地に隣接しているものの、土地区画整理事業認可後60年以上未着手である。下水道未整備や接道条件（建築物の敷地は建築基準法上の道路に2m以上接しなければならない等）を満たしていない土地が存在するなど居住環境が十分に整っていないため、早急に居住環境の改善を図る必要がある。（下水道未整備率：約2割、接道条件を満たしていない敷地：地区内の建築物の約1割）	代替整備計画（案）の作成	達成

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・都市計画（土地区画整理事業）の変更及び事業計画の廃止。 ・代替となる都市再生整備計画を策定。 ・住民、地権者等との協議・調整や条例の廃止等、関連する事務手続きを行う。		0	都市計画の変更 事業の廃止 代替整備計画の策定
（庁内連携課）	下水道整備課、道路整備課、建築指導課、学びの森くすのき・地域文化交流課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【都市計画の変更、事業の廃止】											
変更資料作成・地元調整			都市計画の変更						事業の廃止		
				◎市民説明		●案の縦覧	●審議会		◇広報掲載		
						◇広報掲載		●告示		議会（条例の廃止）●	
【代替整備計画の策定】											
代替整備計画（都市再生整備計画）の策定											
	●R6年度補助金の概算要望			◎市民説明			●R6年度補助金の本要望			計画策定●	報道発表☆

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	宇部市都市計画道路見直し事業	本市の都市計画道路44路線のうち、県の見直しガイドラインに基づく対象路線（計画決定から30年以上経過した未着手区間を有する路線）は21路線あり、社会情勢などが変化してきていることや都市計画道路予定区域内に建築制限をかけ続けていることなどの課題に対応するため、計画の必要性などを再検証する必要がある。	見直し方針の策定	見直し方針（素案）の作成

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・長期未着手都市計画道路の見直し方針に基づき、存続・変更路線については整備見通しの検討を行う。 ・廃止路線については都市計画変更手続きの優先順位を決定する。		0	整備見通しの検討、変更手続きの優先順位の決定
（庁内連携課）	道路整備課、都市計画道路見直し方針検討委員会	うち一財 0	
（共創パートナー）	国土交通省、山口県		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【都市計画道路見直し方針】											
パブコメ	審議会準備・調整										
◎市民説明（4回開催）		●分科会	●策定		●議会報告						
			●審議会 ☆報道発表								
整備見通しの検討（存続・変更路線）、変更手続きの優先順位の決定（廃止路線）											

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
5	常盤台地区まちづくり構想の策定	共創によるまちづくりを推進するためには、大学等と地域の将来ビジョンなどを共有し、連携することが求められている。その中でも常盤台地区は、約5,000人の学生・教職員が在籍している山口大学工学部、宇部工業高等専門学校を中心とした地区であることから、文教エリア等としてビジョンを明確にし、まちづくりを進めていく必要がある。また、山口大学では工学部周辺を地域の共創拠点として創出するため事業を推進していることから、山口大学、宇部工業高等専門学校と緊密に連携し進めていく。	地区の現況把握・課題の整理	達成

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・R4年度に抽出された地域課題を踏まえ、目指すべきまちの姿やまちづくりの方針を地域住民や大学等と検討する。 ・文教のまちとしての価値を高めるまちづくりを促進するため、まちづくり構想を策定する。		1,500	まちづくり構想の策定
（庁内連携課）	連携共創推進課	うち一財 1,500	
（共創パートナー）	山口大学、宇部工業高等専門学校、地域住民		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【常盤台地区まちづくり構想策定】											
	まちづくり方針の検討						実現化方策の検討		とりまとめ		
●前年度実績報告（山口大学）		●委託業者決定		●WS（まちの将来像について）		●WS（実現化方策について）				市民説明◎ 議会報告●	公表●
山口大学、宇部工業高等専門学校との定例協議（毎月1回）											

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
6	鉄道活性化促進等事業	JR 西日本では、輸送密度（1日1kmあたりの利用人数）2,000 人未満の路線の経営状況が公表された。 また、国土交通省有識者会議では、「地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道の在り方に関する提言」（R4.7）で、在り方を議論すべき路線の目安として、「輸送密度 1,000 人未満」が示された。 R3年度の輸送密度、JR宇部線：1,927人／日、JR小野田線：346人／日	JR宇部線の利用者数 3,500人／日	3,357人／日

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・JR宇部線等の利用促進を図るため、まちじゅうエヴァンゲリオン第3弾の取組として、参加者から好評を得ているJRスマホスタンプラリーを軸に企画する。 ・輸送密度1,000人未満のローカル線であるJR小野田線については、同じ沿線である山陽小野田市と連携を図るとともに、JR西日本や山口県との意見交換を実施しながら、利用促進に取り組む。		1,922	3,600人／日
（庁内連携課）	観光交流課、地域ブランド推進課、ときわ公園課	うち一財 1,922	
（共創パートナー）	JR西日本、山陽小野田市、山口県		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【JRスマホスタンプラリー：まちじゅうエヴァンゲリオン第3弾】						イベント期間（10/6～1/8）					
JRや委託業者などとの打ち合わせ、準備、周知									実施後のとりまとめ、景品発送		
				☆記者会見		◇広報掲載					
【輸送密度1,000人未満のローカル線であるJR小野田線】											
●		●協議会の開催									
山陽小野田市、JR西日本と協議		JR小野田線の活用を基本とした実証事業等									

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	中心市街地活性化推進課	野村康雄

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
・R2年3月に認定を受けた「宇部市中心市街地活性化基本計画」に基づき、これまで集積された都市施設などのポテンシャルを活かすとともに、民間活力を取り入れながら、都市機能、居住の誘導を図り、多くの人でにぎわい、誰もが安心・快適に暮らせるまちづくりに取り組む。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	市役所周辺地区における1日当たりの歩行者通行量	第五次総合計画	R4～R8	平日5,400人 休日4,400人	平日4,117人 休日2,976人	平日5,100人 休日3,900人	多くの交流や出会いが生まれ、中心市街地が活性化し、にぎわいが創出される。
2	営業店舗数（新天町地区ほか4地区の合計）	第五次総合計画	R4～R8	515件	483件	497件	中心市街地の経済活動が盛んになり、にぎわいが創出される。
3	中心市街地イベント参加者数	第五次総合計画	R4～R8	6.5万人	4.5万人	4.9万人	多世代の交流が図られ、また、イベント開催地周辺への新たな回遊性が促進されることにより周辺地域の経済活動が盛んになり、にぎわいが創出される。
4	中心市街地居住人口	第2期総合戦略	R2～R6	6,200人	5,730人	6,155人	都市拠点である中心市街地の居住人口が増加することで、持続可能なコンパクトなまちへ転換できる。
5	中心市街地の休日1日当たりの通行者数	第2期総合戦略	R2～R6	16,100人	6,911人	16,000人	多くの交流や出会いが生まれ、中心市街地が活性化し、にぎわいが創出される。

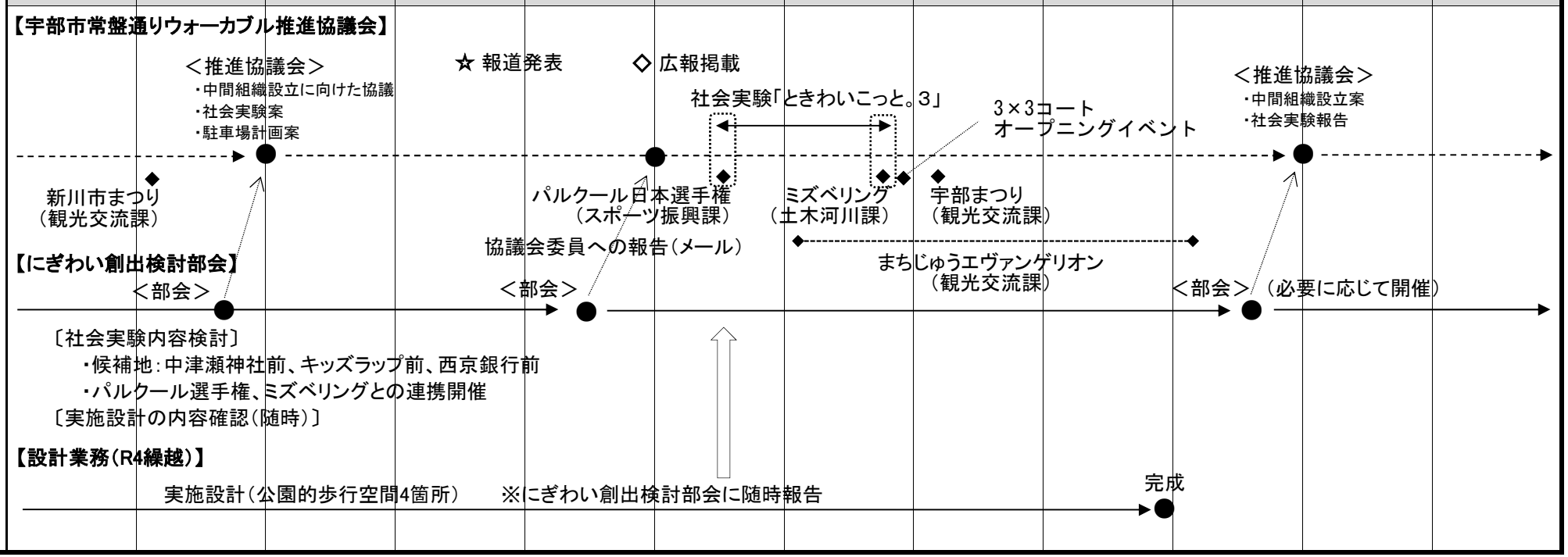
課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

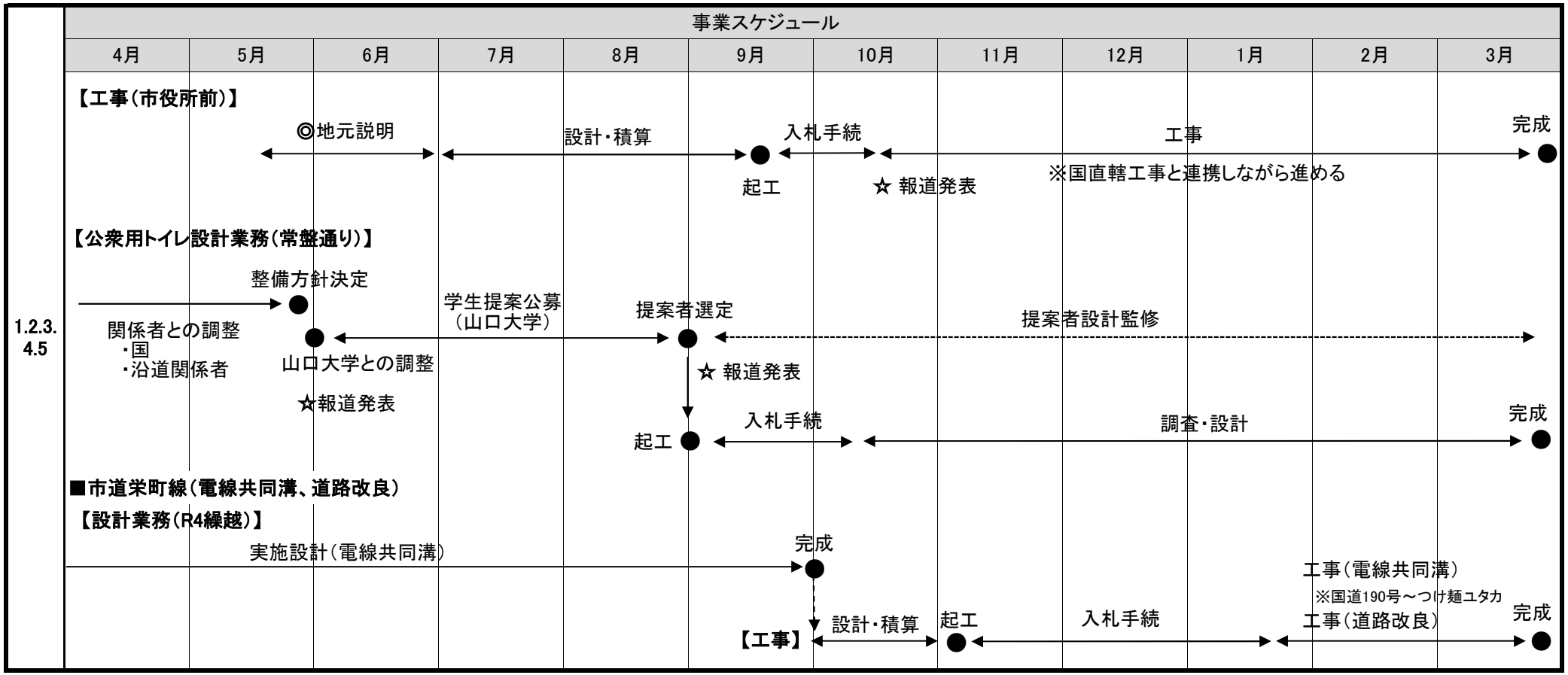
目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1.2.3. 4.5	まちなかウォーカブル推進事業	国道190号（常盤通り）は、広い歩道空間と副道を有しているが、その空間がまちづくりに十分に活用されていない。そのため、これまでの車中心から、ひと中心の空間へと、既存の道路空間の再配分を実施することで、「居心地がよく歩きたくなる」まちなかを形成し、常盤通り全体に絶え間なく人が集まる仕組みを作る必要がある。加えて、市役所東側の市道栄町線についても防災面の向上や景観整備に着手し、市役所周辺地区全体にその効果を波及させる。	市役所周辺地区における1日当たりの歩行者通行量 平日5,050人 休日3,800人	平日4,117人 休日2,976人

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・整備方針を踏まえ、国道190号（市役所前）の公園的歩行空間の整備に着手する。 ・常盤通りへの来街効果を高めるために市主催イベントと連携するとともに、引き続き、国と連携して社会実験に取り組む。 ・中津瀬神社敷地内の公衆トイレの再整備に取り組む。 ・市道栄町線の電線共同溝整備に着手する。		294,422 （R5予算額：273,163） （R4繰越額：21,259）	平日5,100人 休日3,900人
（庁内連携課）	公園緑地課、新庁舎建設課、都市計画課、道路整備課、土木河川課、スポーツ振興課、観光交流課、文化振興課、健康増進課、連携共創推進課、交通局など	うち一財 27,822	
（共創パートナー）	国土交通省、常盤通りウォーカブル推進協議会、にぎわい創出検討部会、㈱にぎわい宇部、常盤通り振興会、新天町名店街、沿道地権者、アドバイザーなど		

事業スケジュール



課 方 針 書


1.2.3.
4.5
事業スケジュール
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
【工事（市役所前）】
◎地元説明
設計・積算
入札手続
工事
完成
起工
☆ 報道発表
※国直轄工事と連携しながら進める
【公衆用トイレ設計業務（常盤通り）】
整備方針決定
関係者との調整
・国
・沿道関係者
学生提案公募
（山口大学）
提案者選定
提案者設計監修
山口大学との調整
☆報道発表
☆ 報道発表
入札手続
調査・設計
完成
起工
■市道栄町線（電線共同溝、道路改良）
【設計業務（R4繰越）】
実施設計（電線共同溝）
完成
工事（電線共同溝）
※国道190号～つけ麺ユタカ
設計・積算
起工
入札手続
工事（道路改良）
完成
【工事】

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
	大型空き店舗等利活用推進事業 （旧山口井筒屋宇部店跡地の利活用）	中心市街地では、誰でも気軽に立ち寄れる休憩スペースやイベント広場などが少ないことや、カフェ・日用品販売施設、さらには子育て支援・教育施設等の設置を望む声が多いことから、旧山口井筒屋宇部店跡地を活用し、多世代が交流できる新たな複合施設を整備する必要がある。	官民連携事業 事業候補者公募開始	完了

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・R4年度から実施しているアドバイザリー業務で、事業候補者の公募を行う。 ・外部委員も含めた「旧山口井筒屋宇部店跡地利活用事業者選定委員会」において優先交渉権者を決定し、6月議会で契約締結等の議決を目指す。 ・R4年度から実施している旧山口井筒屋宇部店の解体について、周辺家屋等に配慮し進め完了させる。		678,044 （R5予算額：634,586） （R4繰越額：　43,458）	・事業候補者選定 ・解体工事完了
（庁内連携課）	こども政策課、営繕課	うち一財　7,859	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

1.2.3.4.5

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

【旧山口井筒屋宇部店跡地利活用アドバイザリー業務（R4.5債務負担）】

提案書〆切 → ● - - - ● - - - ● 事業者決定・契約

【議決事項】
・施設整備契約
・指定管理者の指定

選定委員会
（事業者選定）

☆報道発表（事業者決定）

【解体工事（R4.5継続事業）】

周辺家屋等に配慮しながら進める → ● 完了

全面通行止め期間
（市道常盤通り小路3号線）

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1.2.3. 4.5	【新規】常盤通りにぎわい交流拠点利活用事業	中心市街地には、誰でも気軽に立ち寄れる休憩スペースやイベント広場などが少ないことや、カフェ・日用品販売施設、さらには子育て支援・教育施設等の設置を望む声が多いことから、旧山口井筒屋宇部店跡地を活用し、多世代が交流できる新たな複合施設を整備する必要がある。	－	－

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・旧山口井筒屋宇部店跡地を活用し、「子育て支援拠点」と「くつろぎ交流機能」を核とする公共施設と、飲食機能などを備えた民間施設で構成される複合施設の調査・設計に着手する。		62,096	基本設計完了
（庁内連携課）	こども政策課、こども支援課、営繕課	うち一財 0	
（共創パートナー）	民間事業者		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

【大型空き店舗等利活用推進事業】※再掲

【議決事項】
・施設整備契約
・指定管理者の指定

提案書〆切 → ● - - - ● - - - ● 事業者決定・契約

選定委員会
（事業者選定）

☆報道発表（事業者決定）

【常盤通りにぎわい交流拠点利活用事業】

● → 調査設計完了 → 基本設計完了 → 実施設計着手

◎地元説明

事業者と協議し進捗に合わせた情報発信を行う

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1.2.4.5	優良建築物等整備補助事業	中心市街地では居住人口の減少に歯止めがかからないことから、解消のための対策が必要である。その対策として、民間事業者が主体的に実施する土地利用の共同化、高度化などに寄与する優良建築物等の整備が効果的なことから、その費用の一部を国と地方公共団体が支援していく、官民連携による取り組みが必要である。	解体工事、設計 完了	完了

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・民間事業者が実施する旧松井家具跡地における複合ビル建設事業に対して、必要となる経費の一部を支援する。 ・住居、医療施設、駐車場等を整備することで周辺地区の利便性向上による居住人口の増加やにぎわい創出を図っていく。 ・R4年度には既存建物の解体を完了しており、R5年度は、建築工事に着手し、R6年度の完成に向けて取り組んでいく。		78,600	建築工事進捗50%
（庁内連携課）		うち一財 39,300	
（共創パートナー）			

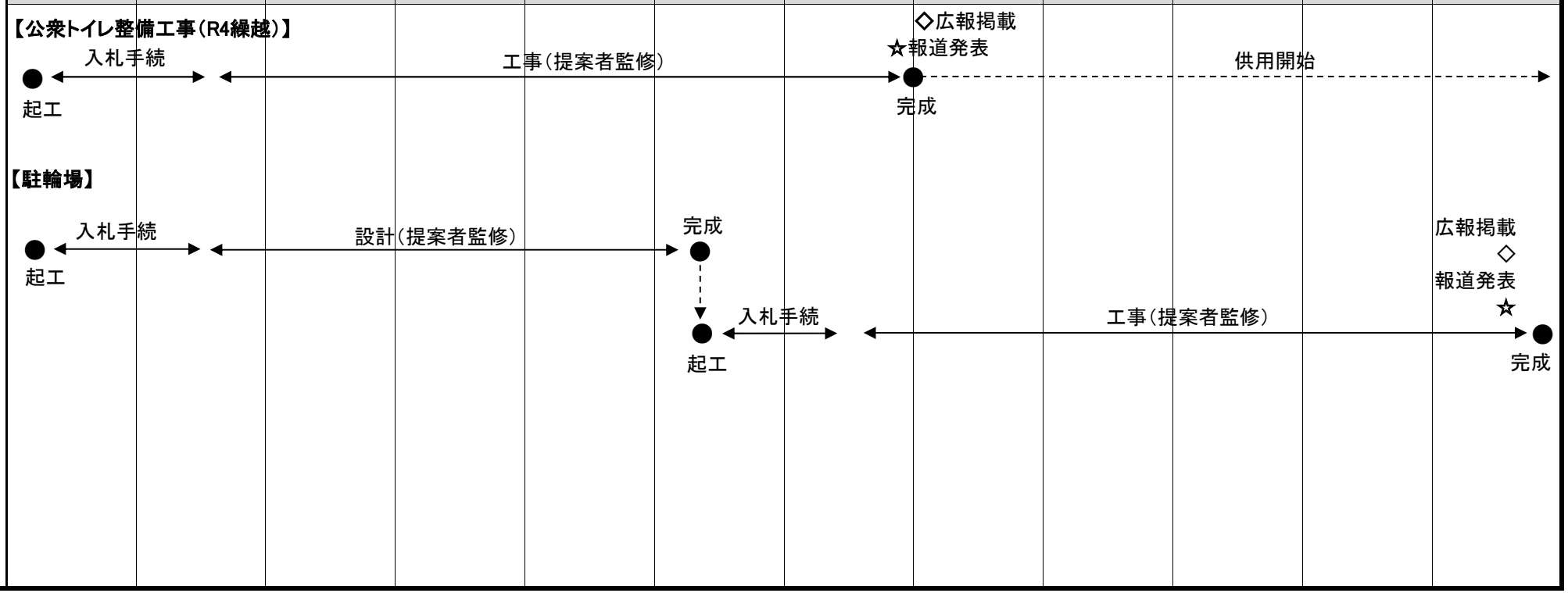
事業スケジュール

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2.3.4.5	宇部新川駅周辺地区整備事業	ウォーカブルなまちづくりを進めるためには、安心で快適に利用できる公衆トイレの適切な配置や利用しやすい駐輪場が必要である。現在、宇部新川駅周辺地区では利用しやすい公衆トイレや駐輪場が少ないことから、新たに整備することでウォーカブルなまちづくりに取り組む必要がある。	公衆トイレ整備 供用開始	設計完了

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・R4年度に学生から受けた提案をもとに、多くの人が集まる宇部新川駅周辺に新たに公衆トイレと駐輪場を整備する。		45,221 （R5予算額： 22,347） （R4繰越額： 22,874）	公衆トイレ、駐輪場整備完了
（庁内連携課）	連携共創推進課、営繕課、都市計画課	うち一財 147	
（共創パートナー）	山口大学、西日本旅客鉄道㈱		

事業スケジュール

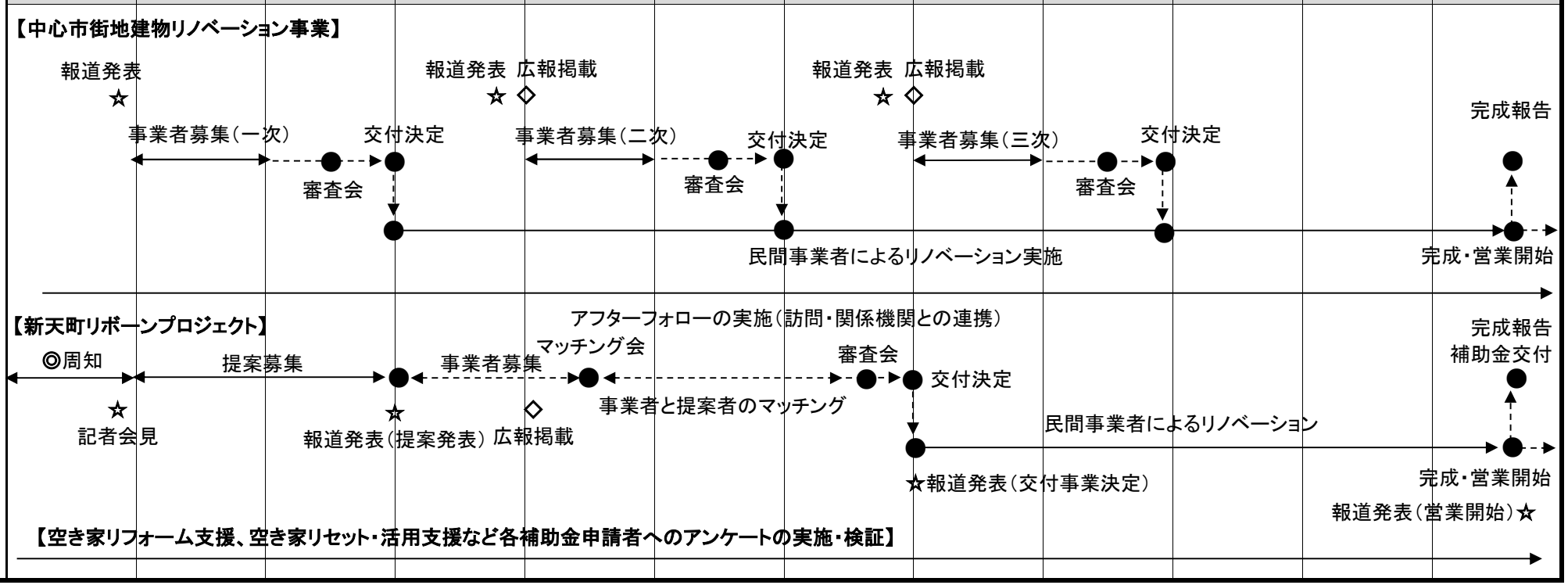


課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1.2.3. 4.5	中心市街地都市機能居住誘導事業	中心市街地では居住人口や店舗等の減少に歯止めがかからないことから、その解消のための対策が必要である。そのため、都市機能誘導区域である中心市街地の建物の新増築やリノベーション等を支援することで、人や店舗を中心市街地に集め、持続可能なコンパクトなまちづくりとにぎわい創出に取り組む必要がある。	リノベーション件数等 8件	3件

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・中心市街地に必要な商業機能などの都市機能の誘導・維持を図り、にぎわいの創出に繋げていくため、空き物件をリノベーションする改修費の一部を助成する。 ・新天町名店街の空き店舗において、宇部市にゆかりのある若い世代から「若い世代が集う空間を創出するアイデア」を募集し、そのアイデアを実現する民間事業者に対して空き店舗をリノベーションする改修費等を補助する。 ・㈱にぎわい宇部と連携して中心市街地内のリノベーション可能な空き店舗を把握するとともに、住宅政策課、移住定住推進課等と連携し、当該空き店舗及びリノベーション制度の情報発信を行う。		25,500	リノベーション5件
（庁内連携課）	住宅政策課、移住定住推進課、連携共創推進課	うち一財 25,500	
（共創パートナー）	㈱にぎわい宇部、提案者		

事業スケジュール



課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2.4.5	住宅市街地総合整備事業	中心市街地では居住人口や店舗等の減少に歯止めがかからないことから、解消のための対策が必要である。そのため、老朽建築物が密集している中央町地区の老朽建築物の除却や公共施設の整備を行い、防災面等の住環境改善と建物再築を促すことで、定住人口の回復と商業の活性化を図る必要がある。	事業進捗率 （事業費ベース） 85.6%	73.3%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・中央町三丁目第二地区において、建築物等の除却及び建物再築を促していく。 ・中央町三丁目第二地区の未利用地において、㈱にぎわい宇部と連携し地権者の意向調査や民間事業者とのマッチングを進める。		24,130 （R5予算額：16,560） （R4繰越額：7,570）	92.8%
（庁内連携課）		うち一財 1,745	
（共創パートナー）	㈱にぎわい宇部		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【建物補償（R4繰越）】											
建物除却								● 完成			
【建物補償】											
権利者交渉（宇部中央銀天街協同組合）					● 契約	建物除却（アーケード）					● 完成
【再開発支援】											
権利者の意向調査、民間事業者との調整											

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1.2.3. 4.5	まちづくり推進事業	中心市街地の価値を維持向上させるためには、「地域の良好な環境や価値を維持・向上させるために民間が主体となってまちづくりや地域経営を積極的に行う取組み」である、「エリアマネジメント」が重要なことから、都市再生推進法人である「㈱にぎわい宇部」と一体となった取り組みが必要である。	新規出店数 34店舗	41店舗

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・中心市街地のにぎわいや活力を取り戻すため、都市再生推進法人である「㈱にぎわい宇部」とともにエリアマネジメントを行う。 ・新規店舗開業や建物新増築、空き家の解消の促進などを図る。 ・定量的指標の歩行者通行量調査を実施する。		11,940	40店舗
（庁内連携課）		うち一財 11,188	
（共創パートナー）	㈱にぎわい宇部		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【㈱にぎわい宇部が実施する事業】 【市役所周辺地区】・宇部新天町名店街区再生事業の検討 【中央町地区】 出店サポートセンター事業の推進　・起業、創業サポート事業の推進 【区域全域】・エリアマネジメントの実施　・広域情報集約発信事業の推進　・人材育成講座の開催　など ◆――――――

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1.2.3. 4.5	まちなかイベント創出事業	各種イベントの開催時には、一定の集客効果があるが、その効果は限定的であり、恒常的なまちのにぎわい創出には至っていない。また、市民アンケート結果からは、魅力あるイベントの開催を望む声が多い。恒常的なにぎわいに繋げていくため、イベント支援のあり方や開催手法等について、関係者と協議を行いながら、引き続きイベント開催・支援を行う必要がある。	イベント開催・支援 50回	39回

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・恒常的なまちのにぎわいを創出するため、ステークホルダーである「㈱にぎわい宇部」や「まちなかイベント実行委員会」と定期的な情報交換を行う。 ・各種市民団体や商店街と連携した、来街者のリピーターを増やす取り組み等の検討を行う。 ・学生や民間団体等が主催するイベント開催に要する費用の一部を補助する。		5,312	50回
（庁内連携課）	観光交流課、スポーツ振興課、文化振興課、土木河川課	うち一財 2,656	
（共創パートナー）	まちなかイベント実行委員会、山口大学、㈱にぎわい宇部		

事業スケジュール

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

【民間団体等が主催するイベント】

〔市役所周辺地区〕
- ○新天町こどもまつり（4/5）
- ○キッズ関連

〔中央町地区〕
- ○パンマルシェ（4/15）
- 多世代交流スペースにて「ガーデンフェスタ」の開催（1回/月）
- ○クリスマスマーケット

〔宇部新川駅周辺地区〕
- ○マルシェ
- ○マルシェ
- サンタクロスロード

【イベント日程】

〔市役所周辺地区〕
- 社会実験「ときわいこっと。3」
- スペインフェスタ（観光交流課）
- 3×3コートオープニングイベント（スポーツ振興課）
- 新川市まつり（観光交流課）
- パルクール日本選手権（スポーツ振興課）
- ミズベリング（土木河川課）
- 宇部まつり（観光交流課）
- WAKUWAKUマーケット

〔中央町地区〕
- 平和通りイルミネーション

〔宇部新川駅周辺地区〕
- まちじゅうエヴァンゲリオン（観光交流課）

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2.3.4.5	多世代交流スペース活用事業	中央町地区の低未利用地を、様々な活動や気軽に集える交流の場として活用しているが、まちのにぎわい創出には至っていない。一方で、多世代交流スペース周辺では、新たにアパートの建設や建物リノベーション事業活用による新規出店が3店舗あるなど、中央町地区の様々な活動拠点としての成果も見え始めていることから、引き継き、にぎわいの創出に向けたまちづくりに取り組む必要がある。	歩行者通行量 （コロナ禍前のH30年度基準） 15,900人	6,911人

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・「山口大学×宇部SDGsクリエイティブ人材育成講座」の一つとして、宇部市常盤通りウォーカブル推進協議会や若者クリエイティブコンテナの運営、まちづくり活動など、多様な主体と課題の抽出から解決までのプロセスを共有し、にぎわい創出を図るための研究を行う。 ・R4年度に行ったトヨタ自動車とのプロボノ活動の成果を基に実証実験を行う。		6,807	16,000人
（庁内連携課）	こども政策課、こども支援課	うち一財 3,404	
（共創パートナー）	山口大学		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【再掲】 ○パンマルシェ（4/15）	「ガーデンフェスタ」の開催（1回/月）			報道発表☆		しばふ広場実証実験（子育て世代の利用） ◇広報掲載		○クリスマスマーケット			
宇部市常盤通りウォーカブル推進協議会の運営、まちづくり研究、若者クリエイティブコンテナの運営、多世代交流スペース等でのイベント参画											
			●成果発表会 セミナー等			●成果発表会 セミナー等					

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	住宅政策課	髙下　秀秋

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由

・住宅セーフティネットとして、住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で住宅を供給するため、市営住宅の計画的な建替、保全、管理を行うとともに、関係部局と連携し、地域課題の解消や地域力の向上を図る。
・安心、安全に暮らすことのできる生活環境や景観を維持していくため、空き家等の適正管理や管理不全空き家発生の未然防止に取り組むとともに、空き家を増加させないために空き家の活用を促進するなど空家等に関する施策を推進する。
・物価高騰下における経済対策として「健康・省エネ住宅リフォーム助成金」支援制度を実施することで地域経済を支えるとともに、市民の健康維持増進へつながる健康で安心に暮らせる健康・省エネ住宅の普及促進を図る。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	高齢者に配慮した市営住宅の整備割合	第五次総合計画	R4～R8	65%	54%	56%	既設住宅において、段差部に手摺を設置し、一定のバリアフリー化を行うことで、高齢化が進んでいる入居者が、安心して生活できる住宅を供給できる。
2	海南団地建替事業の計画的な推進	個別計画	R4～R13	生活基盤に配慮した住宅の建替	基本計画の策定	基本設計の実施	高齢者向けや子育て向けなど、年齢や家族構成に対応した住宅を整備することで、快適な生活基盤を構築でき、安心で安全な市営住宅を供給できる。
3	空き家等の適正な管理指導　（適正な管理が行われていない空き家等の改善率）	個別計画	R3～R7	50%	24%	43%	空き家の所有者や管理者に対して、適正な管理指導や未然防止対策を推進することで、地域や近隣住民の不安を解消し、安全で安心な生活環境を確保できる。
4	健康・省エネ住宅の普及促進（予算執行率）	個別計画	R5～R5	100%	（98.4%）※コロナ対策	100%	健康・省エネ住宅に資するリフォーム工事の一部を支援することで、物価高騰下における市民生活や事業者の事業活動を支えるとともに、市民の健康増進につなげる。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	市営住宅整備事業 （高齢者に配慮した住戸整備）	市営住宅の高齢者世帯の割合は、H23年度は44.9%、H28年度は56.1%、R3年度は63.9%と増加傾向にあるが、段差の解消や手すりの設置など高齢者に配慮した住戸の整備割合は、R4年度末現在、54%に留まっていることから、高齢者に配慮した住戸の供給を増やす必要がある。	高齢者に配慮した住戸整備の割合 54 %	54 %

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・宇部市公営住宅等長寿命化計画に基づき、シルバーリフォーム工事や住戸内手摺設置工事を実施する。 ・高齢化の進行やニーズに対応していくため、シルバーリフォーム対象団地や、公営住宅等長寿命化計画の見直しについて検討を行う。		68，950 （R5年度予算額：39,550） （R4年度繰越額：29,400）	56 %
（庁内連携課）	営繕課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

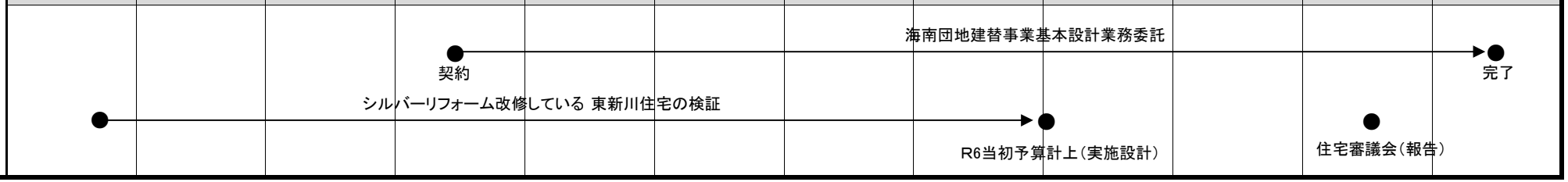
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
≪シルバーリフォーム工事（6戸）R4繰越分≫※R5年3月契約済み → 完了					契約 → シルバーリフォーム工事（6戸） → 完了						
					契約 → 住戸内手摺設置工事（96戸） → 完了						
シルバーリフォーム対象団地、計画等見直しの検討 → R6当初予算に反映											

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	市営住宅整備事業 （海南団地建替事業）	定期募集に応募された高齢者は、R3年度が243件71%、令和4年度が214件69%で、そのほとんどが商業施設が近くにあるエリアの市営住宅を希望されている。しかしながら、利便性の高いエリアに立地した市営住宅の数が少ないことから、見初住宅や鵜の島住宅などに応募が集中し、応募倍率が10倍以上と高いため、ニーズに対応した住戸の供給が必要である。	海南団地建替事業の推進 基本計画の策定	基本計画を策定完了

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・耐震基準を満たしていない海南住宅の建替えの実施。 ・基本計画では、超高齢化社会に適応した公営住宅整備と位置づけ、住戸タイプを単身、二人暮らしの少人数高齢世帯を中心とした構成で検討。供給目標戸数と住戸タイプの割合は、現在の海南団地における世帯数及び割合から、供給戸数は70戸を上限とし、住戸タイプは、単身向け70%、2人以上向け30%を目安に計画する。 ・団地全体をシルバーリフォーム改修している東新川住宅を先進事例として、自治会活動などソフト面においても検証を行い、基本設計にフィードバックする。		23,790	基本設計の実施
（庁内連携課）	営繕課、高齢者総合支援課	うち一財 11,895	
（共創パートナー）			

事業スケジュール



課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	空き家対策推進事業 （空き家110番）	本市における空き家の状況は、H28年度は2,075戸だったものが、R2年度には2,588戸となるなど年々増加しており、空き家に関する苦情・相談もH28年度は77件だったものが、R3年度は183件、R4年度には208件と増加している。また、空き家所有者の高齢化や所有者不明により、改善につながらないケースも増えている。空き家は、近隣の衛生環境に影響を与えるだけでなく、犯罪の温床にもなることから、防犯上の観点からも、その対策が重要である。	空き家相談による改善率 40 %	23 %

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・適切な管理が行われていない空き家に対する苦情や相談に対し、現地確認を行い、その所有者に対し適切な管理について指導・助言を行うことにより、安全性の確保、生活環境の保全に取り組む。 ・空き家相談による改善率を向上させるため、空き家流通促進プラットフォームの運用により、空き家の流通促進を図る。また、管理不全空き家所有者への指導方法について、他市の先進的な取り組みを参考にして見直しを行い、マニュアルを作成する。 ・県との協働により、空き家問題の普及啓発を目的とした空き家対策セミナーを開催する。 ・適切な管理が行われていない空き家で、屋根や外壁等の一部が危険な状態にあり、緊急の対応が必要となった場合、危険回避のための必要最小限の措置（部分的な撤去、バリケード設置など）を市が実施できるよう条例（宇部市空家等対策の推進に関する条例）の改正を行う。		2,726	43 %
（庁内連携課）	移住定住推進課、広報広聴課	うち一財 2,717	
（共創パートナー）	司法書士会、土地家屋調査士会、宅地建物取引業協会、全日本不動産協会、建築士会、山口銀行		

事業スケジュール

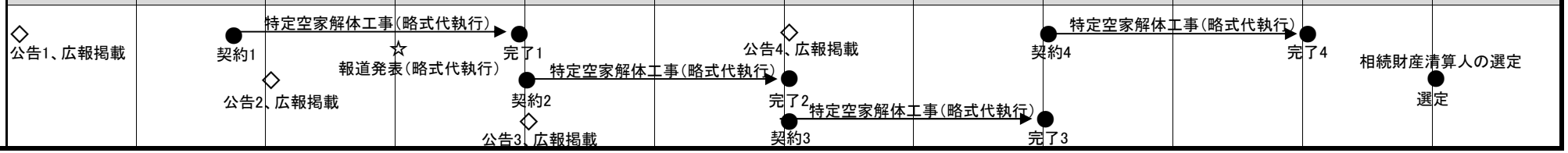
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
空き家流通促進プラットフォーム運用開始					空き家110番（空き家に関する相談受付、空き家流通促進プラットフォーム）						
☆ 報道発表（3/28）											
先進地視察、緊急対応措置の検討、条例案作成				空き家対策協議会	【議決事項】 条例改正		広報掲載	空き家対策セミナー			

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	空き家対策推進事業 （特定空家解体）	本市における空き家の状況は、H28年度は2,075戸だったものが、R2年度には2,588戸となるなど年々増加しており、空き家に関する苦情・相談もH28年度は77件だったものが、R4年度には208件と増加している。適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観等の市民生活に及ぼす影響を鑑み、市民の生命、身体、財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図るため、空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき実施する必要がある。	特定空家の措置 1 件	1 件

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・R2年度に3件、R4年度に1件認定した特定空家4件を解体するため、略式代執行を実施する。 ・土地の処分などをすすめていくため、相続財産清算人を選定する。		20,875	4 件
（庁内連携課）		うち一財 5,123	
（共創パートナー）			

事業スケジュール



課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	健康・省エネ住宅リフォーム助成事業	過去の助成金制度の利用者アンケートでは、約4割の方が助成金があったからリフォームを実施したと回答。これまでの経済波及効果は、7,000万円の助成金に対し、工事費が約3億9,700万円となるなど、一定の経済効果がある。また、募集開始から4～5ヵ月で予算額に達するなど市民ニーズが高い事業となっているとともに、市議会や民間団体から事業の継続や拡充などの要望がある。	予算執行率 100 %	99 %

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・市内に居住形態のある「住宅」において、健康・省エネ住宅に資するリフォーム工事を実施する者に対し、市内の工事業者が施工することを要件に、工事に係る経費の一部を補助する。（助成率1/5　助成上限額15万円　最低工事費5万円以上）		30,000	100 %
（庁内連携課）		うち一財 30,000	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● 宇部市公式ウェブサイト掲載（4/14）	● 申請受付開始（5/15） ◇ 広報掲載							● 申請受付終了（12/28）		● 工事完了報告（2/29）	

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	新庁舎建設課	紅野　覚

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
・災害発生時の防災拠点や市民交流を促すまちづくりの拠点として、市民の安心安全や市民活動を支える庁舎を目指す。 ・ユニバーサルデザインを徹底し、誰もが安心して快適に利用できる庁舎を目指す。 ・市役所周辺地区のにぎわい創出を図るため、面的整備の一環として、庁舎前広場や真締川公園、常盤通りの再整備を先導的に推進する。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	本庁舎建設事業進捗率（事業費ベース）	個別計画	H28～R6	100%	78.4%	83.5%	防災や、まちづくりの拠点の整備により、市民の安心安全や市民活動を支えるとともに、ユニバーサルデザインにより、誰もが安心して利用できる。
2	市役所周辺地区整備事業進捗率（事業費ベース）	個別計画	H30～R8	100%	1.5%	23.3%	庁舎前広場や真締川公園、常盤通りとを一体的に整備し、魅力的で快適な滞在空間を創出することで、市役所周辺地区のにぎわいに繋がる。

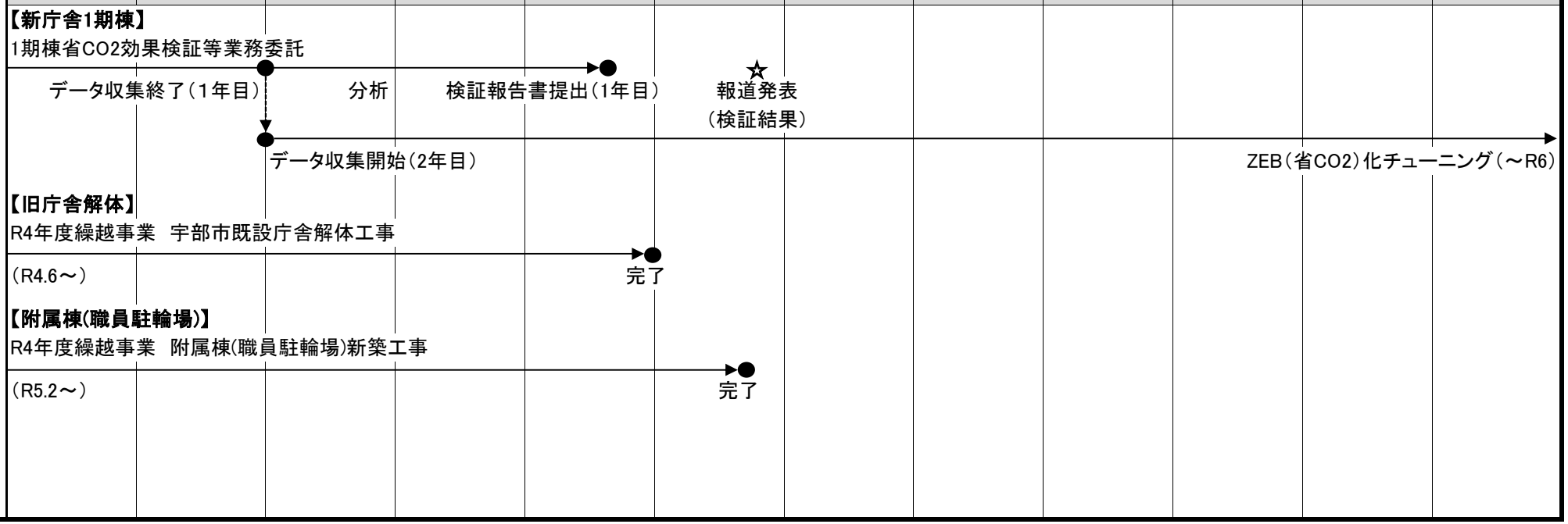
課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	本庁舎建設事業	市民活動支援機能や市民の交流を生み、市民の活動を支えるまちづくりの拠点としての機能が求められている2期棟を建設し、中心市街地の賑わい創出の拠点とする。	事業進捗率 81.6%	78.4%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・R4年5月に供用開始した新庁舎1期棟について、省CO2化を図るため、ZEBチューニングを実施する。 ・関係各課等と調整を図りながら、新庁舎2期棟の建設を着実に推進する。サイン図については、1期棟に引き続きユニバーサルデザインに配慮し、障害者団体や障害者支援団体、子育て支援団体等と調整を図る。 ・R7年4月の新庁舎2期棟供用開始に向け、什器備品リスト及び仕様書を策定する。 ・まちなかウォーカブルの形成に向け、通路シェルターやバスシェルター等の整備に伴う実施設計を行う。		706,590 （R5予算額 636,021） （R4繰越額 70,569）	83.5%
（庁内連携課）	総務課，デジタル推進課，財産管理課，市民活動課，中心市街地活性化推進課，営繕課	175 うち一財 （R5予算額 175） （R4繰越額 0）	
（共創パートナー）	障害者団体，障害者支援団体，子育て支援団体		

事業スケジュール



課 方 針 書

1

事業スケジュール

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

【新庁舎2期棟】（R6年12月完了予定）

2期棟新築工事（建築・電気・機械）

仮契約 議決・本契約 準備 一時中止 現場着手

☆報道発表（本体工事着手）

2期棟新築工事（地盤補強・柱状改良）

起案 契約 現場着手 完了

☆報道発表（2期棟工事着手）

什器・備品整備

関係各課との調整 購入什器・備品の洗い出し 仕様検討・仕様書作成 予算見積（R6当初）

サイン図製作

ユニバーサルデザイン意見交換会 2期棟施工者との協議 施工図への反映

【渡り廊下・通路シェルター・バスシェルター】

渡り廊下及びバスシェルター他新築実施設計業務委託

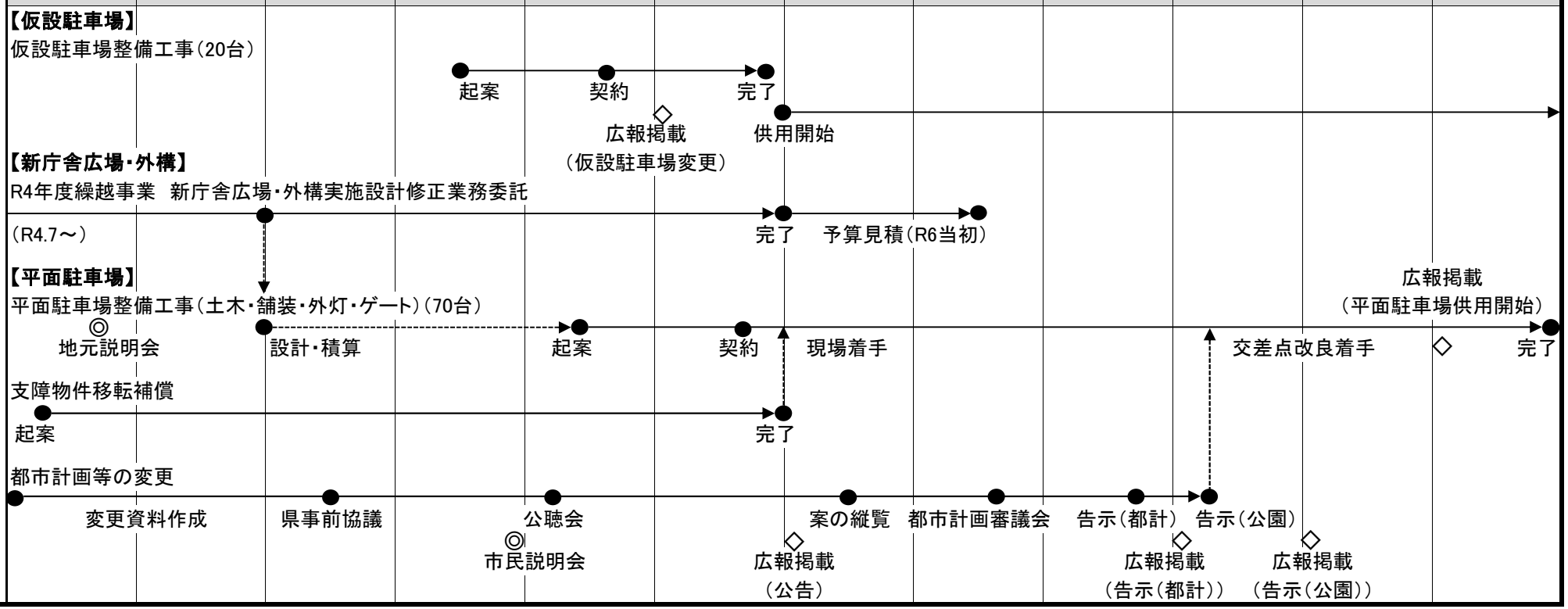
起案 契約 完了

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	市役所周辺地区整備事業	宇部市役所周辺地区の真締川公園は、樹木が密集して暗く、人が集まらない、川沿いにある公園としての優位性が活かせていないといった課題があるが、まちなかの良好な景観形成に対するニーズは高く、市役所本庁舎建替と合わせ、真締川公園、庁舎前広場や常盤通りとの一体的な整備により、憩いとくつろぎ空間を演出し、多くの人が集まる場として市役所周辺地区のにぎわいを創出する必要がある。	事業進捗率 2.8%	1.5%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・平面駐車場整備工事に着手する前までに、仮設駐車場（20台）を整備する。 ・附属棟(職員駐輪場)竣工に合わせ、平面駐車場整備工事（70台）に着手する。 ・平面駐車場整備工事について、交差点改良に伴う各種許認可手続きや、真締川公園用地の購入、支障物件移転補償を行う。		166,870	23.3%
（庁内連携課）	財産管理課，都市計画課，中心市街地活性化推進課，公園緑地課，営繕課，土木河川課，道路整備課	うち一財 298	
（共創パートナー）			

事業スケジュール



課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	公園緑地課	青山　剛

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
・都市公園施設長寿命化計画等に基づき、年次的に老朽化した遊具やトイレなどの公園施設について、市民ニーズを取り入れながら更新を行う。 ・街路樹の適切な維持管理を行うことにより、快適で安全な歩道空間を創出する。 ・ガーデンシティうべ構想に基づき、緑と花と彫刻が調和し、心豊かに暮らせる都市空間を市民協働で創出する。 ・ときわ公園活性化基本計画に基づき、園内の花木や施設を計画的に維持整備を行う。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	山口宇部空港ふれあい公園大型遊具設置	個別計画	R3～R5	大型遊具設置	大型遊具制作及び一部設置	大型遊具設置	子育て環境の魅力が向上する。また、交流人口の増加により地域の活性化に繋がる。
2	公園施設整備事業	個別計画	H26～R8	トイレ14箇所 遊具51箇所	トイレ　9箇所 遊具 34箇所	トイレ 11箇所 遊具 39箇所	老朽化した小型の遊具等を、市民ニーズを取り入れた人気の高い複合遊具化することで、都市公園の魅力が向上し多くの市民が訪れる憩いの場となる。
3	周遊園路（スポーツ広場周辺）の歩道整備	個別計画	R4～R7	歩道設置 L=600m	測量調査設計の完了	歩道設置 L=100m	歩道を整備することで、ウォーキング等の公園利用者の安全性が向上し、隣接する自然緑地の整理を行うことで、桜並木の樹形改善が図られ、市民の憩いの場を創出する。
4	住民による開発公園等の適正な維持管理数（新規）	個別計画	R5～R8	4か所	―	1か所	画一的な開発公園を、畑や花壇整備、移動販売車利用などの住民ニーズに合った土地利用と交流の場として活用することで、住民による適正な維持管理を促進する。

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	山口宇部空港ふれあい公園大型遊具設置事業	山口県が管理する山口宇部ふれあい公園は、駐車場と多目的に利用できるオープンスペースを持ち、トイレなども完備され、アクセス性にも優れていることから、市民から設置要望の多い大型遊具を設置することで、家族で出かけられる憩いの場を新たに創出できる。	大型遊具設置	大型遊具制作及び一部設置

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・山口宇部ふれあい公園内にインクルーシブ遊具を設置。 ・R5年5月25日に報道及び関係者向け内覧会を開催。 ・R5年5月27日にオープニング式典を開催し遊具広場の利用を開始する。 ・オープン後は、家族のふれあいの場、子育て世帯の交流の場の充実を図るため、こども未来部が子ども相談などソフト事業に活用。		106,138 （R5予算額：　650） （R4繰越額：105,488）	大型遊具設置
（庁内連携課）	障害福祉課、こども政策課、こども支援課、学校教育課、教育支援課、市民活動課、観光交流課	うち一財　650	
（共創パートナー）	障がい者支援団体、地域コミュニティ、山口県		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設置工事（R4繰越）		●関係者向け内覧会（5/25）〔報道関係者、養護教諭、保育士、幼稚園教諭、障がい者支援団体など、近隣自治体職員〕									
		●オープン（5/27）									
						（健康福祉部・こども未来部ソフト事業）					
報道発表☆（定例会見）	◇広報掲載（オープン告知）		◇広報掲載（遊具広場特集記事）	◇（市長チャンネル撮影）			◇インクルーシブ啓発イベント（市長チャンネル撮影）（毎年12/3～9障がい者週間）				

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	公園施設等整備事業	R2年度の遊具点検の結果、修繕・更新が必要な遊具は132施設、バリアフリー化が必要なトイレは19箇所あり、改善には多額な費用が必要となることから、都市公園施設長寿命化計画に基づき、国の交付金を活用し計画的な更新を実施している。	トイレ11個所 遊具34個所	トイレ9個所 遊具34個所

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・遊具更新は、地元自治会などと協同し、デザインを決定する。 ・3か所の公園（下片倉街区公園、昭和町街区公園、藤山北街区公園）の複合遊具化、2か所の公園（黄幡街区公園、松濤街区公園）の個別遊具を更新する。 ・2か所の公園（宮大路南街区公園、真締川公園（朝日町））のトイレを更新する。		58,923 （R5予算額：31,000） （R4繰越額：27,923）	トイレ11個所 遊具39個所
（庁内連携課）	市民活動課、営繕課	うち一財　2,500	
（共創パートナー）	自治会、地域コミュニティ		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現地調査	デザイン案の作成		地元協議	入札期間				遊具更新工事			
		デザイン候補決定		設計積算		契約					完成
見積徴収（R4繰越）		設　計		入札期間				便所更新工事			
				設計積算		契約					完成

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	ときわ公園整備事業 （周遊園路（スポーツ広場周辺）の歩道整備）	ときわ公園は、ウォーキングなどで1日あたり1500人の利用があることから、歩道のないスポーツ広場周辺道路に歩行者専用の園路を整備し、安全性の向上を図る。 また、整備に合わせ現道の桜並木を既存ストックとして活用するため、樹勢回復と樹形の整姿を行い、常盤公園北側の新たな名所づくりにも合わせて取り組む。	測量調査設計の完了	測量調査設計の完了

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・既存健康遊具に近接した周遊園路整備であり、高齢者総合支援課が新たに取り組む「健康遊具設置事業」とも連携を図る。 ・園路が、多くの市民の健康づくりの場としても活用できるよう、関連団体と連携する。		20,000	歩道設置L=100m
（庁内連携課）	ときわ公園課、スポーツ振興課、高齢者総合支援課、健康増進課、障害福祉課	うち一財 1,000	
（共創パートナー）	一般社団法人　宇部市スポーツコミッション、障がい者団体		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保安林解除協議		保安林解除手続き									
	申請			許可							
	スポーツ・障がい者関連団体との協議										
			入札期間				歩道設置工事				
			設計積算	契約							完成

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	開発公園施設整備事業（新規） （住民による開発公園等の適正な維持管理数）	開発公園は、子ども向け遊具の設置を進めていたが、少子高齢化や核家族化の進行により、住宅団地では公園利用者が減少し、R4年度末現在、318か所の開発公園のうち、34か所の公園で利用者が無く、維持管理していない状態となっている。	－	－

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・利用されていない子ども向け開発公園を、地域の実情やニーズに合わせるため、開発公園施設整備事業の運用を見直す。 ・公園利用や管理の課題を聞き、地域ニーズに合った新しい利用方法へ変更できるよう、利用実績や維持管理の変化などを確認するために、実験的に実施する。 ・地域農園や花壇整備、地域のスーパーマーケットが運営する移動販売車用スペースとしての活用など、住民ニーズを確認する。 ・R5年度は、管理できない開発公園34か所の自治会から、対象公園を募集し1か所の公園で実施する。		1,000	1か所
（庁内連携課）	市民活動課	うち一財 1,000	
（共創パートナー）	自治会、地域コミュニティ		

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公園調査		開発公園施設整備事業の見直し （制度設計）		公募 （WEBサイト）	地元協議	入札期間		施設整備工事			
			☆ 報道発表		公園決定	設計積算	契約				完成

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	建築指導課	三隅浩俊

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由

・建築基準法、都市計画法に基づき、建築物の許可、認定、審査及び検査や開発行為の許可及び検査等を行い建築物の品質の確保、良好な宅地の供給を図る。
・地震時の自然災害に強いまちづくりを実現するため、建築物については、耐震改修促進計画に基づき、建築物の耐震化や危険ブロック塀等の撤去の支援を行い、宅地については、国土強靭化計画に基づき、大規模盛土造成地の安全性の把握により、地震時の宅地の被害の軽減、防止に取り組む。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	宅地耐震化の推進 大規模盛土造成地の地震時に関する安全性の把握箇所（累計）	個別計画	R2 ～ R8	9箇所	1箇所	3箇所	R4年度に実施した大規模盛土造成地安全性の順位付けに基づき大規模盛土造成地変動予測調査を実施することにより、滑動崩落防止工事の必要性の確認、計画的な事業計画の策定が可能となり住民の安心安全な住環境が確保できる。
2	宅地耐震化の推進 大規模盛土造成地の滑動崩落防止対策箇所数 （R4年度繰越し事業）	個別計画	R4 ～ R5	1箇所	1箇所 （契約締結）	1箇所 （工事完了）	旭ヶ丘団地の滑動崩落防止対策工事を完了させることで、地震時における宅地の安全性が確保できる。
3	ブロック塀等の安全対策の促進 危険ブロック等の撤去補助金件数（累計）	個別計画	R1 ～ R8	97箇所	37箇所	52箇所	危険性の高いブロック塀等の撤去により、地震時の通行者等の安全が確保出来る。

課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	宅地耐震化推進事業 （第2次スクリーニング）	H28年に発生した熊本地震やH30年北海道胆振東部地震などにおいて、大規模に盛土造成された宅地で地すべりによる被害が多発したことから、国の要請により地震時に地すべりの可能性がある大規模盛り土造成地の位置及び規模を示した「大規模盛土造成マップ」をR2年度に県が公表した。その結果、市内に32箇所の大規模盛土造成地があることが判明したことから、宅地の安全性を確認する為、計画的に調査を行う必要がある。	第二次スクリーニング計画策定	第二次スクリーニング計画 策定完了

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・大規模盛土造成地変動予測調査（第2次スクリーニング）を実施する。（際波台、光ヶ丘団地） ・第2次スクリーニングの結果を基に実施設計、滑動崩落防止対策工事の要否を判断する。		9,000	大規模盛土造成地変動予測調査（2か所）完了
（庁内連携課）		うち一財 6,000	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			● 国費交付決定								
			◎ 地元説明（案内文配布）			● R6年度調査個所の決定及び予算計上					
		●起案	●契約締結						●完了		

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	宅地耐震化推進事業 （滑動崩落防止対策工事）	R2年7月の大雨により大規模な地滑りが発生した旭が丘団地を,山口県がR4年5月に造成宅地防災区域に指定したことを受け、滑動崩落防止対策工事を実施する。（R4年度　繰越事業）	実施設計完了後、対策工事発注	実施設計完了 対策工事契約締結完了

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・地元説明会を開催する。 ・大規模盛土造成地（厚南旭が丘団地）滑動崩落対策工事を実施する。 ・現場見学会を開催する。		137,000 （R5予算額　　0） （R4繰越額　137,000）	対策工事完了
（庁内連携課）	土木河川課	うち一財　7,800	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◎	地元説明会（4/29）			◎	現場見学会 （地域住民（子供含む）を対象）						
	● 工事着手										● 完了 ※

※県が工事完了を確認後に造成宅地防災区域を解除（R6年度予定）

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	ブロック塀等安全対策事業	H30年6月に発生した大阪北部地震によるブロック塀の倒壊事故を受け、国が創設したブロック塀等の除却・改修等に対する支援制度を活用し、避難路（国道、県道、市道、及び通学路等）に面した倒壊の危険性が高いブロック塀等に対して、撤去費用の一部を補助する制度をR1年度から実施している。これまで37件の危険なブロック塀等が撤去されており、補助制度を継続することで、地震時の通行者等の安全性を確保する必要がある。	補助金交付件数 10件	15件

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・市ウエブサイトへ補助制度内容を掲載する。 ・建設業関係団体にパンフレット配布する。 ・広報うべに補助制度内容を掲載（5月号、9月号）する。 ・申請内容審査、工事完了確認の後に補助金を交付し危険ブロックの撤去に取り組むことにより、歩行者等の安心安全を確保する。		1,500	15件
（庁内連携課）		うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● 建設業関係団体への周知、宇部市公式ウエブサイト掲載											
	◇ 広報掲載				◇ 広報掲載						
	●→							●→			
	申請受付開始（5/15）						申請受付終了（11/30）				● 工事完了報告

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R5	営繕課	上原　学

1 課の使命

課の果たすべき責務、存在理由
・安心安全なまちづくりを目指し、適切な設計及び工事監理業務を通じて、市民の財産である学校や市営住宅、官庁施設などの公共施設の品質確保を図る。 ・公共施設を安全で快適な施設として長期活用するために改築・改修し、強靭かつ高質な都市環境を整える。

2 課の目標・アウトカム　前期実行計画及び総合戦略の目標、その他個別計画や課の使命等に基づく目標とアウトカム

目標No	目標・成果指標	計画種別	計画期間	目標値（単位）	R4年度末の実績見込値	R5年度末の目標値	アウトカム（ありたい姿・得られる効果）
1	本庁舎建設事業 （新庁舎2期棟新築工事、既設庁舎解体工事、附属棟新築工事） 進捗率（事業費ベース） 【主管課：新庁舎建設課】	個別計画	R4 ～ R6	100%	11.3%	32.9%	防災や、まちづくりの拠点の整備により、市民の安心安全や市民活動を支えるとともに、ユニバーサルデザインにより、誰もが安心して利用できる。 【主管課：新庁舎建設課(再掲)】
2	大型空き店舗等利活用推進事業 （旧山口井筒屋宇部店解体工事） 進捗率（事業費ベース） 【主管課：中心市街地活性化推進課】	個別計画	R4 ～ R5	100%	4.5%	100%	多くの交流や出会いが生まれ、中心市街地が活性化し、にぎわいが創出される。 【主管課：中心市街地活性化推進課(再掲)】
3	小中学校特別教室空調設備設置実施箇所数（室） 【主管課：教育施設課】	個別計画	R5 ～ R5	161室	―	161室	児童生徒のより良い学習環境の実現。 【主管課：教育施設課(再掲)】
4	小中学校施設耐震化率 【主管課：教育施設課】	第五次総合計画	R4 ～ R7	100%	98.7%	99.4%	安心・安全に過ごせる教育環境の実現と防災機能の強化。 【主管課：教育施設課(再掲)】

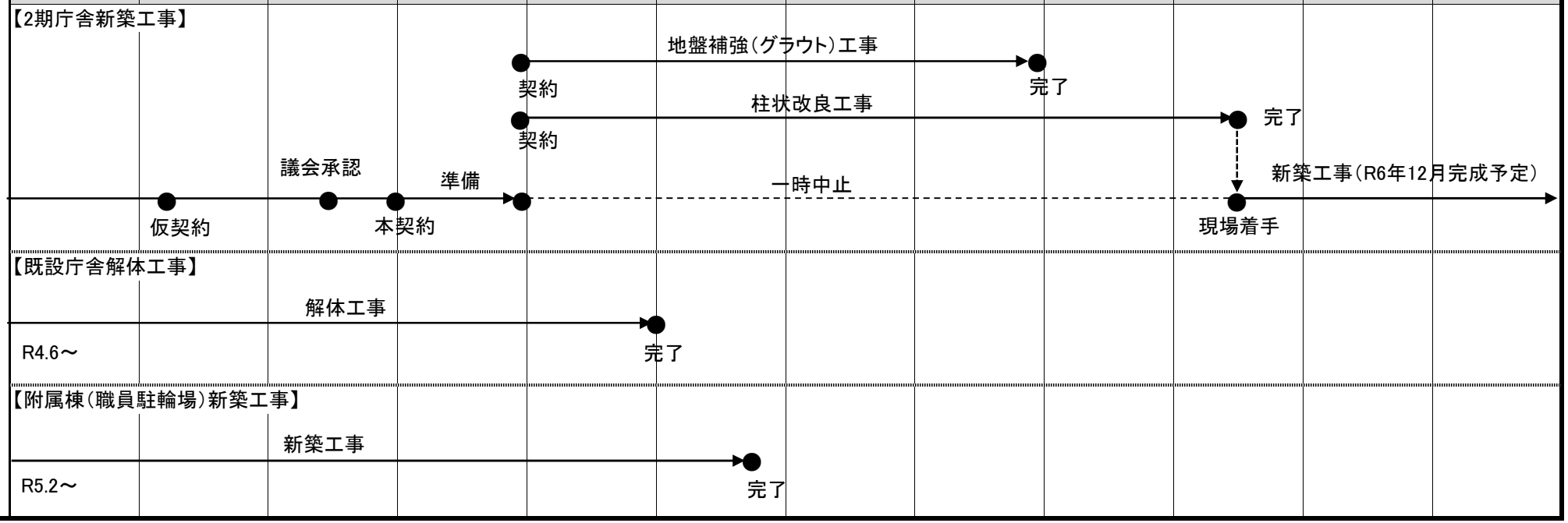
課 方 針 書

3 課の目標・アウトカムの達成に向けた取組とスケジュール

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
1	本庁舎建設事業	市民活動支援機能や市民の交流を生み、市民の活動を支えるまちづくりの拠点としての機能が求められている2期棟を建設し、中心市街地の賑わい創出の拠点とする。 【主管課：新庁舎建設課(再掲)】	進捗率（事業費ベース） 11.3%	11.30%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・新庁舎2期棟新築工事を実施する。（R5年度～R6年度） ・既設庁舎解体工事を実施する。（R4年度～R5年度） ・附属棟（職員駐輪場）新築工事を実施する。（R4年度～R5年度）		627,754 （R5予算額581,925） （R4繰越額45,829）	32.90%
（庁内連携課）	新庁舎建設課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール



課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
2	大型空き店舗等利活用推進事業	中心市街地では、誰でも気軽に立ち寄れる休憩スペースやイベント広場などが少ないことや、カフェ・日用品販売施設、さらには子育て支援・教育施設等の設置を望む声が多いことから、旧山口井筒屋宇部店跡地を活用し、多世代が交流できる新たな複合施設を整備する必要がある。【主管課：中心市街地活性化推進室(再掲)】	進捗率（事業費ベース） 4.5%	4.50%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
解体工事を実施する。（R4年度～R5年度）		661,600 （R5予算額622,300） （R4繰越額39,300）	100%
（庁内連携課）	中心市街地活性化推進課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【旧山口井筒屋宇部店解体工事】					解体工事						
R5.1～		←全面通行止め期間（市道常盤通り小路3号線）→									完了

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
3	小中学校特別教室空調設備整備事業	小中学校の空調設備については、空調が必要となる全ての教室への設置を目指し、これまで普通教室、図書室、給食施設への設置を進めてきており、引き続き、特別教室への設置に取り組むもの。【主管課：教育施設課(再掲)】	エアコン設置教室数 —	—

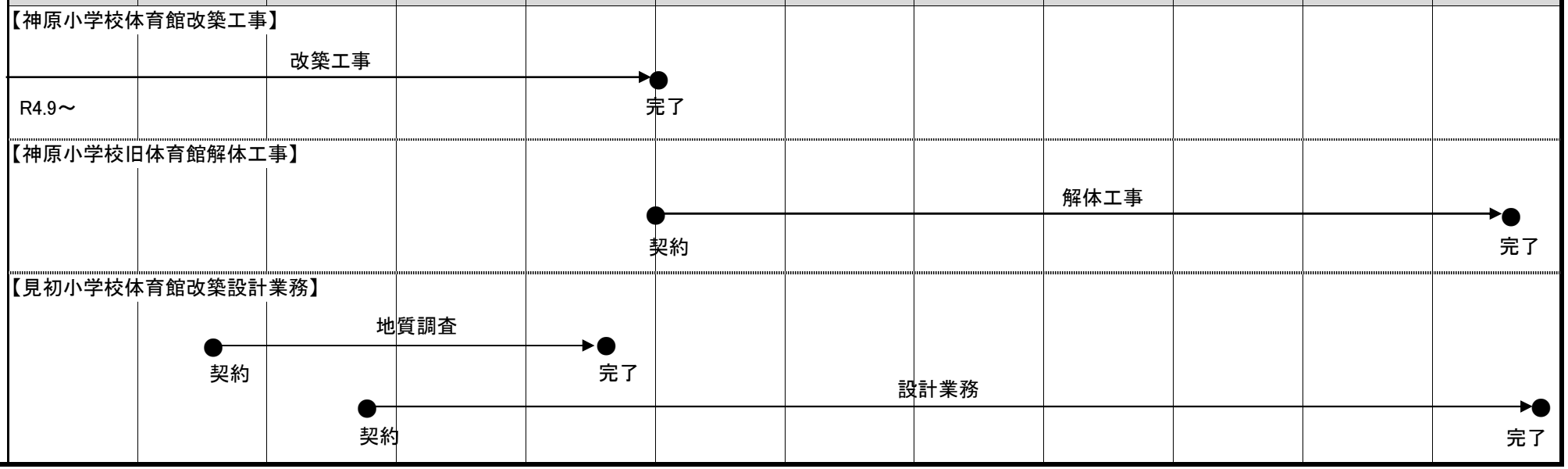
取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
小中学校特別教室空調設備の設置工事及び電源設置工事を実施する。 《小学校》24校全校　87教室 《中学校》12校全校　74教室　（全161教室）		893,195 （R5予算額192,460） （R4繰越額700,735）	161室
（庁内連携課）	教育施設課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【小中学校特別教室空調用電源設置工事】					電源設置工事						
		契約							完了		
【小中学校特別教室空調設備設置工事】					空調設備設置工事						
		契約								完了	

課 方 針 書

目標No.	事業名	事業実施の根拠（ボトルネックは何か、なぜ実施するか等をデータを用いて記載）	R4年度目標	R4年度実績
4	小中学校施設耐震化事業	小中学校の耐震化率は、R4年度末時点で98.7%となっており、未耐震の体育館2棟が残っている。耐震化率100%の達成に向け、計画的に事業を進めていく必要がある。【主管課：教育施設課(再掲)】	耐震化率 98.7%	98.7%

取組内容（共創事業は、共創パートナーも記載）		当初予算額(千円)	R5年度目標
・神原小学校体育館改築工事を実施する。（R4年度～R5年度） ・神原小学校旧体育館解体工事を実施する。 ・見初小学校体育館改築設計業務を実施する。		464,490	99.40%
（庁内連携課）	教育施設課	うち一財 0	
（共創パートナー）			

事業スケジュール